

注3

大学番号：私303

[平成30年度設置]

計画の区分：短大の学科の設置

注1

届出

郡山女子大学 短期大学部 地域創成学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人郡山開成学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局

職名・氏名

キョウムブ チョウサ ツジ カズヒロ
教務部長補佐 辻 和宏

電話番号 024-932-4848

（夜間） 024-932-4848

F A X 024-933-6748

e-mail kyoumu2@koriyama-kgc.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

短期大学部

＜地域創成学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人郡山開成学園

(2) 大学名

郡山女子大学短期大学部

(3) 大学の位置

〒963-8503
福島県郡山市開成三丁目25番2号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(セキグチ オサム) 関口 修 (平成15年11月)		
学長	(セキグチ オサム) 関口 修 (平成23年4月)		
学部長	(サイトウ ミホコ) 齋藤 美保子 (平成30年4月)		
学科長等	(サイトウ ミホコ) 齋藤 美保子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
短期大学部 地域創成学科 学士(地域創成)	美術関係 文学関係	2年	80人	年次 0人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80人 () [-]	0人 () [-]	80人 () [-]	人 () [-]	0.81倍	0.89倍	人
志願者数	75 () [-]	0 () [-]	95 () [-]	0 () [-]			
受験者数	73 () [-]	0 () [-]	93 () [-]	0 () [-]			
合格者数	71 () [-]	0 () [-]	89 () [-]	0 () [-]			
B 入学者数	65 () [-]	0 () [-]	78 () [-]	0 () [-]			
入学定員超過率 B/A	0.81		0.98				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		備 考
	平成30年度		令和元年度		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	65 [-] (-)	[-] (-)	78 [-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		63 [-] (-)	[-] (-)	
計	65 [-] (-)		141 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	63 人	2 人	平成30年度	2 人	人	学生個人の心身に関する事情
令和元年度	141 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合計		2 人		2 人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{63} = \boxed{3.17} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{141} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<短期大学部 地域創成学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創成学科	宗教学	1前	2			1						
	情報処理Ⅰ	1前		2				1				
	総合英語コミュニケーション	1前		2				1			1	
	キャリアデザインⅠ	1前		2			2	2				
	キャリアデザインⅡ	1後		1							1	
	地域創成ゼミナール	1通	2			4	4	6		2		
	地域創成プロジェクト演習	2通	2			4	4	6		2		
	生涯学習概論	1前		2				1			1	
	家族社会学	1前		2			1					
	生活芸術学入門	1前		2		2	1	2				
	インターンシップ	2前		1			1	2				
基礎学カトレーニング	1前		1		4	4	6		2			
芸術鑑賞講座・教養講座Ⅰ	1通	0.5										
芸術鑑賞講座・教養講座Ⅱ	2通	0.5										
小計(14科目)			7	15	0	15	17	27	0	6	3	
地域創成学科 共通専門科目	図書館概論	1前		2							1	
	博物館概論	1前		2			1					
	女性文化史	2前		2			1	1				
	デザイン論	1後		2			1					
	色彩学	1前		2				1				
	情報処理Ⅱ	1後		2				1				
	情報処理Ⅲ	2前		2				1				
	情報概論	1後		2							1	
	情報倫理	2前		2							1	
	情報メディア論	2前		2				1				
	地域社会と食文化	1前		1				1			1	
	衣生活文化論	1後		2							1	
	家庭福祉論	2後		2			1					
	ビジネスマナー	1後		1			1	2				
ビジネスホスピタリティ	1後		2			1					2	
ボランティア活動	1前		1		4	4	6	0	2			
小計(16科目)				29		4	10	14	0	2	5	
地域創成学基礎	日本文化史	1前		2				1				
	ヨーロッパ文化史	1前		2			1					
	考古学	1後		2			1					
	美術史	1後		2		1						
	宗教文化史	1後		2		1						
	介護概論	2後		2							1	
	社会福祉概論	1前		2							1	
	デッサンⅠ	1前		2		1						
	デッサンⅡ	1後		2		1						
	油彩画Ⅰ	1通		2		1						
	塑造表現	1通		2				1				
	基礎デザイン	1前		1				1				
	絵本とイラストレーション	1後		1				1				
	CG基礎Ⅰ	1前		1			1					
	CG基礎Ⅱ	1後		1			1					
	写真基礎	1後		1							1	
水彩表現	1後		1		1							
版画基礎	1前		1		1							
小計(18科目)			0	29	0	7	4	4	0	0	3	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創成学科	宗教学	1前	2			1						
	情報処理Ⅰ	1前		2				1				
	総合英語コミュニケーション	1前		2				1			1	
	キャリアデザインⅠ	1前		2			1		2			
	キャリアデザインⅡ	1通		1							1	
	地域創成ゼミナール	1通	2				7	3	4		1	
	地域創成プロジェクト演習	2通	2				7	3	3		1	
	生涯学習概論	1前		2								1
	家族社会学	1前		2			1					
	生活芸術学入門	1前		2		2	2	1				
	インターンシップ	2前		1			1	1	1			
基礎学カトレーニング	1前		1			2	1	2				
芸術鑑賞講座・教養講座Ⅰ	1通	0.5										
芸術鑑賞講座・教養講座Ⅱ	2通	0.5										
小計(14科目)			7	15	0	22	11	13	0	2	3	
地域創成学科 共通専門科目	図書館概論	1前		2					1			
	博物館概論	1前		2			1					
	女性文化史	2前		2			1		1			
	デザイン論	1後		2				1				
	色彩学	1前		2				1				
	情報処理Ⅱ	1後		2				1				
	情報処理Ⅲ	2前		2				1				
	情報概論	1後		2							1	
	情報倫理	2前		2							1	
	情報メディア論	2前		2				1				
	地域社会と食文化	1前		1							1	
	衣生活文化論	1後		2							1	
	家庭福祉論	2後		2			1					
	ビジネスマナー	1後		1			1	1	1			
ビジネスホスピタリティ	1後		2			1					2	
ボランティア活動	1前		1		4	4	6	2	0	1		
小計(16科目)				29		6	8	6	0	1	6	
地域創成学基礎	日本文化史	1前		2					1			
	ヨーロッパ文化史	1前		2			1					
	考古学	1後		2			1					
	美術史	1後		2		1						
	宗教文化史	1後		2		1						
	介護概論	2後		2							1	
	社会福祉概論	1前		2							1	
	デッサンⅠ	1前		2		1						
	デッサンⅡ	1後		2		1						
	油彩画Ⅰ	1通		2		1						
	塑造表現	1通		2					1			
	基礎デザイン	1前		1				1				
	絵本とイラストレーション	1後		1				1				
	CG基礎Ⅰ	1前		1			1					
	CG基礎Ⅱ	1後		1			1					
	写真基礎	1後		1							1	
水彩表現	1後		1		1							
版画基礎	1前		1		1							
小計(18科目)			0	29	0	9	4	2	0	0	3	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創成学探究	日本史演習	2前		2				1				
	ヨーロッパ史演習	2後		2			1					
	美術史演習	2後		2		1						
	宗教文化史演習	2後		2		1						
	考古学実習	2通		2			1					
	地域社会と食生活	2通		2				1				1
	地域社会と衣生活	2前		2								1
	油彩画Ⅱ	2前		1		1						
	油彩画Ⅲ	2後		1		1						
	木彫表現	2通		2				1				
	版画表現	2前		1		1						
	ビジュアルデザインⅠ	2前		1				1				
	Webデザイン	2前		1			1					
小計(11科目)			0	22	0	6	3	4	0	0	2	
図書館学関係	児童サービス論	1前		2								1
	図書館サービス概論	1後		2								1
	図書館情報資源概論	1後		2								1
	情報資源組織論	1前		2								1
	図書館情報技術論	2前		2								1
	図書館制度・経営論	2前		2								1
	情報サービス論	2後		2								1
	情報サービス論演習	2通		2								1
	情報資源組織演習	2通		2								1
	図書館基礎特論	2後		1								1
	図書館情報資源特論	2後		1								1
小計(11科目)			0	20	0	0	0	0	0	0	11	
博物館学関係	博物館資料論	1後		2				1				
	博物館実習	2通		3				2				
	博物館情報・メディア論	2前		2								1
	博物館教育論	2前		2				1				
	博物館経営論	2後		2								1
	博物館資料保存論	2後		2								1
	博物館展示論	2後		2		1						
小計(7科目)			0	15	0	1	0	4	0	0	3	
卒業研究(論文もしくは報告書)	2通		4		4	4	6	0	2			
小計(1科目)			4		4	4	6	0	2			
合計(81科目)			7	134	0	37	38	59	0	10	27	
卒業要件及び履修方法												
(記入例) 必修科目24単位、専門基礎科目の選択科目から22単位、専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：44単位(年間))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創成学探究	日本史演習	2前		2					1			
	ヨーロッパ史演習	2後		2				1				
	美術史演習	2後		2		1						
	宗教文化史演習	2後		2		1						
	考古学実習	2通		2			1					
	地域社会と食生活	2後		2								2
	地域社会と衣生活	2前		2								1
	油彩画Ⅱ	2前		1		1						
	油彩画Ⅲ	2後		1		1						
	木彫表現	2通		2					1			
	版画基礎	2前		1		1						
	ビジュアルデザインⅠ	2前		1					1			
	Webデザイン	2前		1			1					
小計(11科目)			0	22	0	8	2	2	0	0	3	
図書館学関係	児童サービス論	1前		2								1
	図書館サービス概論	1後		2					1			
	図書館情報資源概論	1後		2					1			
	情報資源組織論	1前		2					1			
	図書館情報技術論	2前		2					1			
	図書館制度・経営論	2前		2					1			
	情報サービス論	2後		2					1			
	情報サービス論演習	2通		2					1			
	情報資源組織演習	2通		2					1			
	図書館基礎特論	2後		1					1			
	図書館情報資源特論	2後		1					1			
小計(11科目)			0	20	0	0	0	10	0	0	1	
博物館学関係	博物館資料論	1後		2					1			
	博物館実習	2通		3				1		2		
	博物館情報・メディア論	2前		2								1
	博物館教育論	2前		2						1		
	博物館経営論	2後		2								1
	博物館資料保存論	2後		2								1
	博物館展示論	2後		2		1				1		
小計(7科目)			0	15	0	2	0	5	0	0	3	
卒業研究(論文もしくは報告書)	2通		4		4	4	6	0	2			
小計(1科目)			4		4	4	6	0	2			
合計(81科目)			7	134	0	54	28	40	0	4	19	
卒業要件及び履修方法												
(記入例) 必修科目24単位、専門基礎科目の選択科目から22単位、専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：44単位(年間))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
地域創成学科 生活基礎科目	宗教学	1前	2			1							
	情報処理Ⅰ	1前		2			1						
	総合英語コミュニケーション	1前		2									1
	キャリアデザインⅠ	1前		2		2		2					
	キャリアデザインⅡ	1通		1									1
	地域創成ゼミナール	1通	2			7	3	4			1		
	地域創成プロジェクト演習	2通	2			7	3	4			1		
	生涯学習概論	1前		2									1
	家族社会学	1前		2		1							
	生活芸術学入門	1前		2		2	2	1					
	インターンシップ	2前		1		1	1	1					
	基礎学カトレーニング	1前		1		2	2	1					
	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅰ	1通	0.5										
	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅱ	2通	0.5										
小計(14科目)			7	15	0	23	12	13	0	2		3	
地域創成学科 共通専門科目	図書館概論	1前		2									1
	博物館概論	1前		2		1							
	女性文化史	2前		2		1		1					
	デザイン論	1後		2			1						
	色彩学	1前		2			1						
	情報処理Ⅱ	1後		2			1						
	情報処理Ⅲ	2前		2			1						
	情報概論	1後		2									1
	情報倫理	2前		2									1
	情報メディア論	2前		2			1						
	地域社会と食文化	1前		1					1				
	衣生活文化論	1後		2									1
	家庭福祉論	2後		2		1							
	ビジネスマナー	1後		1		1	1	1					
ビジネスホスピタリティ	1後		2		1								
ボランティア活動			1		7	3	4	0		1			
小計(16科目)				29		12	9	7	0	1		4	
地域創成学基礎	日本文化史	1前		2					1				
	ヨーロッパ文化史	1前		2		1							
	考古学	1後		2		1							
	美術史	1後		2		1							
	宗教文化史	1後		2		1							
	介護概論	2後		2									1
	社会福祉概論	1前		2									1
	デッサンⅠ	1前		2		1							
	デッサンⅡ	1後		2		1							
	油彩画Ⅰ	1通		2		1							
	塑造表現	1通		2					1				
	基礎デザイン	1前		1				1					
	絵本とイラストレーション	1後		1				1					
	CG基礎Ⅰ	1前		1				1					
CG基礎Ⅱ	1後		1				1						
写真基礎	1後		1									1	
水彩表現	1後		1		1								
版画基礎	1前		1		1								
小計(18科目)			0	29	0	9	4	2	0	0		3	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創成学探究	日本史演習	2前		2				1				
	ヨーロッパ史演習	2後		2		1						
	美術史演習	2後		2		1						
	宗教文化史演習	2後		2		1						
	考古学実習	2通		2		1						
	地域社会と食生活	2後		2				1				
	地域社会と衣生活	2前		2								1
	油彩画Ⅱ	2前		1		1						
	油彩画Ⅲ	2後		1		1						
	木彫表現	2通		2				1				
	版画基礎	2前		1		1						
	ビジュアルデザインⅠ	2前		1			1					
	ビジュアルデザインⅡ	2後		1		1						
	Webデザイン	2前		1			1					
小計(11科目)			0	22	0	8	2	3	0	0	1	
図書館学関係	児童サービス論	1前		2								1
	図書館サービス概論	1後		2								1
	図書館情報資源概論	1後		2								1
	情報資源組織論	1前		2								1
	図書館情報技術論	2前		2								1
	図書館制度・経営論	2前		2								1
	情報サービス論	2後		2								1
	情報サービス論演習	2通		2								1
	情報資源組織演習	2通		2								1
	図書館基礎特論	2後		1								1
	図書館情報資源特論	2後		1								1
小計(11科目)			0	20	0	0	0	0	0	0	11	
博物館学関係	博物館資料論	1後		2				1				
	博物館実習	2通		3		1		2				
	博物館情報・メディア論	2前		2								1
	博物館教育論	2前		2				1				
	博物館経営論	2後		2								1
	博物館資料保存論	2後		2								1
	博物館展示論	2後		2		1						
小計(7科目)			0	15	0	2	0	4	0	0	3	
卒業研究(論文もしくは報告書)	2通		4		7	3	4	0	1			
小計(1科目)			4		7	3	4	0	1			
合計(81科目)			7	134	0	61	30	33	0	4	25	

卒業要件及び履修方法

(記入例)

必修科目24単位、専門基礎科目の選択科目から22単位、専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：44単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

合計(81科目)において、人事異動により専任教員等の配置について

「教授37、准教授39、講師59、助手10、兼任・兼担27」を

「教授61、准教授30、講師33、助手4、兼任・兼担25」に変更。詳細は次の通り。

1) 地域創成学科生活基礎科目小計(14科目)

「教授15、准教授17、講師27、助手6、兼任・兼担3」から

「教授23、准教授12、講師13、助手2、兼任・兼担3」に変更。詳細は以下のとおり。

- ・「情報処理Ⅰ」：「講師1」→「准教授1」
- ・「キャリアデザインⅠ」：「准教授2、講師2」→「教授2、講師2」
- ・「地域創成ゼミナール」：「教授4、准教授4、講師6、助手2」→「教授7、准教授3、講師4、助手1」
- ・「地域創成プロジェクト」：「教授4、准教授4、講師6、助手2」→「教授7、准教授3、講師4、助手1」
- ・「家族社会学」：「准教授1」→「教授1」
- ・「生活芸術学入門」：「教授2、准教授1、講師2」→「教授2、准教授2、講師1」
- ・「インターンシップ」：「准教授1、講師2」→「教授1、准教授1、講師1」
- ・「基礎学カトレーニング」：「教授4、准教授4、講師6、助手2」→「教授2、准教授2、講師1」

2) 地域創成学科共通専門科目小計(16科目)

「教授4、准教授10、講師14、助手2、兼任・兼担5」から

「教授12、准教授9、講師7、助手1、兼任・兼担4」に変更。詳細は下記の通り。

- ・「博物館概論」：「准教授1」→「教授1」
- ・「女性文化史」：「准教授1、講師1」→「教授1、講師1」
- ・「色彩学」：「講師1」→「准教授1」
- ・「情報処理Ⅱ」：「講師1」→「准教授1」
- ・「情報処理Ⅲ」：「講師1」→「准教授1」
- ・「情報メディア論」：「講師1」→「准教授1」
- ・「家庭福祉論」：「准教授1」→「教授1」
- ・「ビジネスマナー」：「准教授1、講師2」→「教授1、准教授1、講師1」
- ・「ビジネスホスピタリティ」：「准教授1」→「教授1」
- ・「ボランティア活動」：「教授4、准教授4、講師6、助手2」→「教授7、准教授3、講師4、助手1」

3) 地域創成学基礎小計(18科目)

「教授7、准教授4、講師4、兼任・兼担3」から

「教授9、准教授4、講師2、兼任・兼担3」に変更。詳細は下記の通り。

- ・「ヨーロッパ文化史」：「准教授1」→「教授1」
- ・「考古学」：「准教授1」→「教授1」
- ・「基礎デザイン」：「講師1」→「准教授1」
- ・「絵本とイラストレーション」：「講師1」→「准教授1」

4) 地域創成学探究小計(11科目)

「教授6、准教授3、講師4、兼任・兼担2」から

「教授8、准教授2、講師3、兼任・兼担1」に変更。詳細は以下の通り。

- ・「ヨーロッパ史演習」：「准教授1」→「教授1」
- ・「考古学実習」：「准教授1」→「教授1」
- ・「ビジュアルデザインⅠ」：「講師1」→「准教授1」

5) 博物館学関係小計(7科目)

「教授1、准教授1、講師4、兼任・兼担3」から

「教授2、講師4、兼任・兼担3」に変更。詳細は以下の通り。

- ・「博物館実習」：「准教授1、講師2」→「教授1、講師2」

(6) 卒業研究(論文もしくは制作)

「教授4、准教授4、講師6、助手2」→「教授7、准教授3、講師4、助手1」

地域創成学科生活基礎科目小計(14科目)記載誤りにより変更

- ・「英語総合コミュニケーション」：「講師1、兼任・兼担1」→「兼任・兼担1」
- ・「生涯学習概論」：「講師1、兼任・兼担1」→「兼任・兼担1」

【令和元年度】

合計(81科目)において、人事異動により専任教員等の配置について

「教授37、准教授39、講師59、助手10、兼任・兼任27」【認可時又は届出時】

「教授61、准教授30、講師33、助手4、兼任・兼任25」【平成30年度変更】から

「教授54、准教授28、講師40、助手4、兼任・兼任18」に変更。詳細は次の通り。

1) 地域創成学科生活基礎科目小計(14科目)

「教授15、准教授17、講師27、助手6、兼任・兼任3」【認可時又は届出時】

「教授23、准教授12、講師13、助手2、兼任・兼任3」【平成30年度変更】から

「教授22、准教授11、講師13、助手2、兼任・兼任3」に変更。詳細は以下のとおり。

・「地域創成プロジェクト演習」：「講師4」→「講師3」

・「基礎学カトレーニング」：「教授4、准教授4、講師6、助手2」→「教授2、准教授1、講師2」

2) 地域創成学科共通専門科目小計(16科目)

「教授4、准教授10、講師14、助手2、兼任・兼任5」【認可時又は届出時】

「教授12、准教授9、講師7、助手1、兼任・兼任4」【平成30年度変更】から

「教授6、准教授8、講師5、助手1、兼任・兼任6」に変更。詳細は下記の通り。

・「図書館概論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「地域社会と食文化」：「講師1」→「兼任・兼任1」

・「ビジネスホスピタリティ」：「講師1」→「講師1、兼任・兼任1」

3) 地域創成学基礎小計(18科目)

「教授7、准教授4、講師4、兼任・兼任3」【認可時又は届出時】

「教授9、准教授4、講師2、兼任・兼任3」【平成30年度変更】

令和元年度は変更なし。

4) 地域創成学探究小計(11科目)

「教授6、准教授3、講師4、兼任・兼任2」【認可時又は届出時】

「教授8、准教授2、講師3、兼任・兼任1」【平成30年度変更】から

「教授8、准教授2、講師3、兼任・兼任3」に変更。詳細は下記の通り。

・「地域社会と食生活」：「講師1」→「兼任・兼任2」

5) 図書館学関係小計(11科目)

「兼任・兼任11」【認可時又は届出時】から

「講師10、兼任・兼任1」に変更。詳細は下記の通り。

・「図書館サービス概論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「図書館情報資源概論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「情報資源組織論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「図書館情報技術論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「図書館制度・経営論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「情報サービス論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「情報サービス論演習」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「情報資源組織演習」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「図書館基礎特論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

・「図書館情報資源特論」：「兼任・兼任1」→「講師1」

5) 博物館学関係小計(7科目)

「教授1、准教授1、講師4、兼任・兼任3」【認可時又は届出時】

「教授2、講師4、兼任・兼任3」【平成30年度変更】から

「教授2、講師5、兼任・兼任3」に変更。詳細は下記の通り。

・「博物館展示論」：「教授1」→「教授1、講師1」

(6) 卒業研究(論文もしくは制作)

「教授4、准教授4、講師6、助手2」【認可時又は届出時】

「教授7、准教授3、講師4、助手1」【平成30年度変更】から

「教授7、准教授3、講師3、助手1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	76 科目	0 科目	81 科目	5 科目 []	76 科目 []	0 科目 []	81 科目 []	変更なし

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

該当なし

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{81} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	郡山女子大学（必要面積5,490㎡）と共用 借用面積8,293㎡ 借用期間20年		
	校舎敷地	0㎡	21,121㎡	0㎡	21,121㎡			
	運動場用地	0㎡	42,498㎡	0㎡	42,498㎡			
	小 計	0㎡	63,619㎡	0㎡	63,619㎡			
	そ の 他	0㎡	65,136㎡	0㎡	65,136㎡			
	合 計	0㎡	128,755㎡	0㎡	128,755㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	郡山女子大学(必要面積6,453㎡)と共用			
	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	郡山女子大学と共用		
	25室	11室	75室	0室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	地域創成学科		39 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	郡山女子大学と共用 97,555冊 (14,150冊)
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕					
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	地域創成学科	19,371 [250] (18,871 [247])	30 [2] (30 [2])	2 [0] (2 [0])	98 (98)	140 (140)	29 (29)	
計	19,371 [250] (18,871 [247])	30 [2] (30 [2])	2 [0] (2 [0])	98 (98)	140 (140)	29 (29)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		郡山女子大学と共用	
	1,264㎡		165席		130,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,567㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	100千円	100千円	図書購入費	450千円	400千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	1,000千円	103千円	1,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,120千円	680千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	郡山女子大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
家政学部										
人間生活学科	4	40	3年次 10	180	学士 (家政)	0.40		昭和41年度	福島県郡山市開成三丁目25番2号	
食物栄養学科	4	80	3年次 10	340	学士 (家政)	0.81		昭和41年度	同上	
大学の名称	郡山女子大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
健康栄養学科	2	70	-	140	短期大学士 (家政学)	0.72		昭和25年度	福島県郡山市開成三丁目25番2号	
幼児教育学科	2	140	-	280	短期大学士 (教育)	1.05		昭和30年度	同上	
音楽科	2	-	-	-	短期大学士 (音楽)	-	-	昭和43年度	同上	平成30年学生募集停止
地域創成学科	2	80	-	160	短期大学士 (地域創成)	0.81		平成30年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<地域創成学科>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専 教授		浅野 章 (59) <平成30年4月>	専 教授		浅野 章 (59) <平成30年4月>	専 教授		浅野 章 (60) <平成30年4月>
		生活芸術学入門 デッサンI デッサンII 油彩画I 油彩画II 油彩画III 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			生活芸術学入門 デッサンI デッサンII 油彩画I 油彩画II 油彩画III 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			生活芸術学入門 デッサンI デッサンII 油彩画I 油彩画II 油彩画III 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究
専 教授		齋藤 弘久 (59) <平成30年4月>	専 教授		齋藤 弘久 (60) <平成30年4月>	専 教授		齋藤 弘久 (61) <平成30年4月>
		生活芸術学入門 水彩表現 版画基礎 版画表現 ビジュアルデザインII 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			生活芸術学入門 水彩表現 版画基礎 版画表現 ビジュアルデザインII 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			生活芸術学入門 水彩表現 版画基礎 版画表現 ビジュアルデザインII 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 卒業研究
専 教授		斎藤 美保子 (62) <平成30年4月>	専 教授		斎藤 美保子 (62) <平成30年4月>	専 教授		斎藤 美保子 (63) <平成30年4月>
		美術史 美術史演習 博物館展示論 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			美術史 美術史演習 博物館展示論 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			美術史 美術史演習 博物館展示論 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 卒業研究
専 教授		福島 寛太郎 (55) <平成30年4月>	専 教授		福島 寛太郎 (55) <平成30年4月>	専 教授		福島 寛太郎 (56) <平成30年4月>
		宗教学 宗教文化史 宗教文化史演習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			宗教学 宗教文化史 宗教文化史演習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			宗教学 宗教文化史 宗教文化史演習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 卒業研究
専 准教授		會田 容弘 (61) <平成30年4月>	専 教授		會田 容弘 (61) <平成30年4月>	専 教授		會田 容弘 (62) <平成30年4月>
		博物館概論 考古学 考古学実習 博物館実習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			博物館概論 考古学 考古学実習 博物館実習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			博物館概論 考古学 考古学実習 博物館実習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 卒業研究
専 准教授		桑野 聡 (56) <平成30年4月>	専 教授		桑野 聡 (57) <平成30年4月>	専 教授		桑野 聡 (58) <平成30年4月>
		キャリアデザインI インターンシップ ヨーロッパ文化史 ヨーロッパ史演習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			キャリアデザインI インターンシップ ヨーロッパ文化史 ヨーロッパ史演習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			キャリアデザインI インターンシップ ヨーロッパ文化史 ヨーロッパ史演習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究
専 准教授		小松 太志 (42) <平成30年4月>	専 准教授		小松 太志 (42) <平成30年4月>	専 准教授		小松 太志 (43) <平成30年4月>
		生活芸術学入門 デザイン論 CG基礎I CG基礎II Webデザイン 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			生活芸術学入門 デザイン論 CG基礎I CG基礎II Webデザイン 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学力トレーニング ボランティア活動 卒業研究			生活芸術学入門 デザイン論 CG基礎I CG基礎II Webデザイン 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 卒業研究

＜地域創成学科＞

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
担当授業科目名		
専任	准教授	知野 愛 (52)
		＜平成30年4月＞ キャリアデザイン! 家庭福祉論 女性文化史 家族社会学 ビジネスマナー ビジネスホスピタリティ 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	阿部 優子 (43)
		＜平成30年4月＞ 地域社会と食文化 地域社会と食生活 ビジネスマナー 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	黒沼 令 (39)
		＜平成30年4月＞ キャリアデザイン! 生活芸術学入門 壁画表現 木形表現 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	佐藤 愛未 (30)
		＜平成30年4月＞ 日本文化史 日本史演習 博物館資料論 女性文化史 博物館実習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	仲田 佐和子 (55)
		＜平成30年4月＞ キャリアデザイン! インターンシップ 博物館実習 博物館教育論 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	松田 理香 (50)
		＜平成30年4月＞ 生活芸術学入門 色彩学 基礎デザイン ビジュアルデザイン! 絵本とイラストレーション 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	山口 猛 (40)
		＜平成30年4月＞ 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理Ⅲ インターンシップ 情報メディア論 ビジネスマナー 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
兼任	講師	和知 剛 (52)
		＜平成30年4月＞ 情報サービス演習 情報資源組織演習

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
担当授業科目名		
専任	教授	知野 愛 (53)
		＜平成30年4月＞ キャリアデザイン! 家庭福祉論 女性文化史 家族社会学 ビジネスマナー ビジネスホスピタリティ 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	阿部 優子 (43)
		＜平成30年4月＞ 地域社会と食文化 地域社会と食生活 ビジネスマナー 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	黒沼 令 (39)
		＜平成30年4月＞ キャリアデザイン! 生活芸術学入門 壁画表現 木形表現 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	佐藤 愛未 (30)
		＜平成30年4月＞ 日本文化史 日本史演習 博物館資料論 女性文化史 博物館実習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	仲田 佐和子 (56)
		＜平成30年4月＞ キャリアデザイン! インターンシップ 博物館実習 博物館教育論 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	准教授	松田 理香 (50)
		＜平成30年4月＞ 生活芸術学入門 色彩学 基礎デザイン ビジュアルデザイン! 絵本とイラストレーション 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	准教授	山口 猛 (40)
		＜平成30年4月＞ 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理Ⅲ インターンシップ 情報メディア論 ビジネスマナー 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
兼任	講師	和知 剛 (52)
		＜平成30年4月＞ 情報サービス演習 情報資源組織演習 図書館サービス概論 図書館組織概論

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
担当授業科目名		
専任	教授	知野 愛 (54)
		＜平成30年4月＞ 家庭福祉論 女性文化史 家族社会学 ビジネスマナー ビジネスホスピタリティ 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 卒業研究
専任	講師	黒沼 令 (40)
		＜平成30年4月＞ キャリアデザイン! 生活芸術学入門 壁画表現 木形表現 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	佐藤 愛未 (31)
		＜平成30年4月＞ 日本文化史 日本史演習 博物館資料論 女性文化史 博物館実習 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	仲田 佐和子 (57)
		＜平成30年4月＞ キャリアデザイン! インターンシップ 博物館実習 博物館教育論 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	准教授	松田 理香 (51)
		＜平成30年4月＞ 生活芸術学入門 色彩学 基礎デザイン ビジュアルデザイン! 絵本とイラストレーション 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 基礎学カトレニング ボランティア活動 卒業研究
専任	准教授	山口 猛 (41)
		＜平成30年4月＞ 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理Ⅲ インターンシップ 情報メディア論 ビジネスマナー 地域創成ゼミナール 地域創成プロジェクト演習 ボランティア活動 卒業研究
専任	講師	和知 剛 (53)
		＜平成30年4月＞ 図書館概論 情報サービス演習 情報資源組織演習 図書館サービス概論 図書館組織概論 図書館情報資源概論 図書館情報技術概論 図書館制作・経営論 情報サービス論 図書館基礎特論 図書館情報資源特論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

【年齢変更】

- ・齋藤弘久：59→60
- ・桑野 聡：56→57
- ・知野 愛：52→53
- ・仲田佐和子：55→56
- ・松田隆嗣：69→70

【職名変更】

- ・會田容弘：准教授→教授
- ・桑野 聡：准教授→教授
- ・知野 愛：准教授→教授
- ・松田理香：講師→准教授
- ・山口 猛：講師→准教授
- ・田辺真弓：教授→講師
- ・古山幹雄：教授→講師

【退職等の変更】

- ・石村由美子教授(兼任)退職。
- ・佐久間邦友講師(兼任)退職により、山本裕詞教授(兼任)に変更。
- ・添田祐司講師(兼任)退職により、熊田伸子教授(兼任)に変更。

【担当授業科目の変更】

- ・二宮和比古教授(兼任)担当授業科目のうち、「図書館サービス概論」と「情報資源組織論」を削除。
- ・和知剛講師(兼任)担当授業担当科目に「図書館サービス概論」と「情報資源組織論」を追加。

【令和元年度】

【退職等の変更】

- ・阿部 優子講師(専任)退職。
- ・二宮 和比古講師(兼任)退職。

【兼任から専任へ変更】

- ・和知 剛講師が兼任から専任に変更。

【兼担・兼任の追加】

- ・鈴木 奈津子助教(兼担)を追加。
- ・加藤 雅子助教(兼担)を追加。
- ・遠見 美江子講師(兼任)を追加。
- ・吉田 いくよ講師(兼任)を追加。
- ・善方 美千子助教(兼任)を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	4	6	0	14	7	3	4	0	14
(7)	(3)	(4)	(0)	(14)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
7	3	4	0	14	●●	●●	●●	●●	●●
[3]	[Δ1]	[Δ2]	[0]	[0]	[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
64 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

数式が入力されています。

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

数式が入力されています。

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
9	講師	阿部 優子	平成31年3月31日	必修	地域創成ゼミナール	①	一身上の都合			
				必修	地域創成プロジェクト演習	①				
				選択	地域社会と食文化	②				
				選択	地域社会と食文化	②				
				選択	ビジネスマナー	①				
				選択	基礎学カトレニング	①				
				選択	ボランティア活動	①				
選択	卒業研究	①								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	4	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	4	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	6	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	4	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	4	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	6	科目	計	2	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>1名の専任教員が退職。必修科目「地域創成ゼミナール」「地域創成プロジェクト演習」は他の専任教員で対応可能であるため、学生の履修への影響はない。選択科目「地域社会と食文化」「地域社会と食生活」は兼任・兼担教員で対応。教育内容等、学生の履修への影響はない。また、選択科目「ビジネスマナー」「基礎学力トレーニング」「ボランティア活動」「卒業研究」は他の専任教員で対応。学生の履修への影響はない。</p> <p>年度当初のオリエンテーションで教員の変更を周知。混乱等は無かった。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (30年4月)	郡山女子大学家政学部人間生活学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 留意事項	ITメディア広報活動の増加、新規奨学金制度の創設等、学生確保のための方策が平成29年度に実施された。 学内委員会（大学教育改革検討委員会）において、定員や改組などの見直しについての検討が実施された。 平成30年度には、当該学科に関する検討のための学内委員会（人間生活学科改組検討委員会）が設置され、さらなる検討が計画されている。	履行済 該当なし
設 置 時 (30年4月)	郡山女子大学短期大学部家政科食物栄養専攻及び音楽科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 留意事項	家政科食物専攻については、入学定員の変更に関する届出が平成29年度になされた。平成30年度1年生の定員充足率は、0.71である。 音楽科については、学生募集の停止の報告、廃止に係る学則変更の届出が平成30年4月に提出された。	履行済 該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<短期大学学部 地域創成学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 郡山開成学園学園教育充実研究会FD部門規程、郡山開成学園学園教育充実研究会規程を整えており学内外へ公開している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成30年度には、第1～8回のFD部門会議を開催しており、年間の委員の出席率は93%である。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>SD・FD合同</p> <p>第1回</p> <p>1. PHPビデオアーカイブズプラスの継続について</p> <p>2. 平成30年度の研修参加回数ガイドラインについて</p> <p>3. 夏の大会の実施について</p> <p>第2回</p> <p>1. 夏の大会の実施について</p> <p>第3回</p> <p>1. 夏の大会の企画について</p> <p>第4回</p> <p>1. 夏の大会の企画について</p> <p>第5回</p> <p>1. 「夏の大会」前日準備について</p> <p>FD</p> <p>第1回</p> <p>1. 平成30年度の役割分担</p> <p>2. 授業公開について</p> <p>3. 夏の大会について</p> <p>第2回</p> <p>1. 平成29年度後期授業評価アンケート分析結果より授業改善について</p> <p>第3回</p> <p>1. 授業公開期間の日程と実施前の確認</p> <p>2. 「夏の大会」報告書について</p>

3. PDCA中間評価

第4回

1. PDCA最終評価（別紙参照）
2. 次年度の「夏の大会」について
3. 次年度の授業公開について
4. 次年度の授業評価アンケートについて
5. 授業評価規程について
6. 新任者オリエンテーションについて
7. 各部門のマニュアル点検

② 実施状況

a 実施内容

- ・前期授業公開（対象指定型）（対象学科を選定し授業公開を行った。）
- ・前期授業公開検討会（前期授業公開終了後、授業についての検討会を実施した。）

b 実施方法

教授会で実施内容を説明した上で、学内LANにおいて各教員へ実施要項を配信し、参加者・評価対象者への事前周知がはかられた方法により適切に実施された。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 授業公開（対象指定型）12/10と12/18に実施し22の参加
2. 授業公開検討会（1. 授業公開の終了後の次の時限に、授業についての検討会を実施。15名の参加）
3. 学園教育充実研究会（大会）（8/28 9時～17時。123名の参加）
4. 各種研修会（5/30参加者30名、9/26参加者40名、9/27参加者26名、11/22参加者25名、11/28参加者19名、1/8参加者15名、2/13参加者24名、2/13参加者37名、2/27参加者40名、2/27参加者30名）
5. 新任者オリエンテーション（3/28～29参加者11名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開においては、授業改善に向けて検討会を実施し活発な議論が行われた。全授業公開においては、参観者がコメントカードを授業公開者に提出し、授業改善への手掛かりとしている。一部の学科では学園教育充実研究会（大会）で作成した、ディプロマポリシールーブリックを基に、科目におけるルーブリック評価を作成し、学生への事前提示やフィードバックを通して学修成果を評価し授業改善にあたっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期に実施している。時期は7月中旬から2週間、12月中旬から1月下旬である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学科主任へは学科教員全員のアンケート結果がフィードバックされている。その結果を踏まえ各学科が、学科会議において協議をし、また学科によっては改善計画書を提出し授業改善に活用している。学生への公開は実施していない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

- c 委員会の審議事項等

該当なし

- d その他

該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

該当なし

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
開設初年度として、設置の趣旨・目的の達成に向けて計画に沿った問題のない教育課程・教員構成・施設設備等が整備された。初年度の定員充足率は約81%であり、予定された教育研究を実施するための条件が達成された。初年度開始以降、約一か月間の教育研究状況は、良好である。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・令和元年6月30日 公表
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成35年度に評価機関（短大基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年6月30日）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。